

第4節 社会教育系施設

社会教育施設

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況	
					老朽化率	耐震性	合計	利用者当たり	利用者数	稼働率
ハイトピア伊賀公共公益施設(5階)生涯学習センター	上野	平成23年度	1棟	1,385㎡	0.0%	有	-	-	-	-
栄楽館	上野	平成5年度	1棟	480㎡	100.0%	無	-4.8百万円	-798円/人	5,993人	5.2%
交流研修センター	上野	平成元年度	1棟	733㎡	69.3%	有	-4.3百万円	-318円/人	13,553人	25.1%
教育研究センター	上野	昭和58年度	4棟	2,747㎡	58.7%	有	-16.3百万円	-769円/人	21,128人	38.0%
初瀬街道交流の館「たわらや」	青山	平成17年度	1棟	140㎡	21.0%	有	-0.8百万円	-183円/人	4,333人	21.9%
合計			8棟	5,485㎡	-	-	-26.1百万円	-581円/人	45,007人	-

<施設の収支>

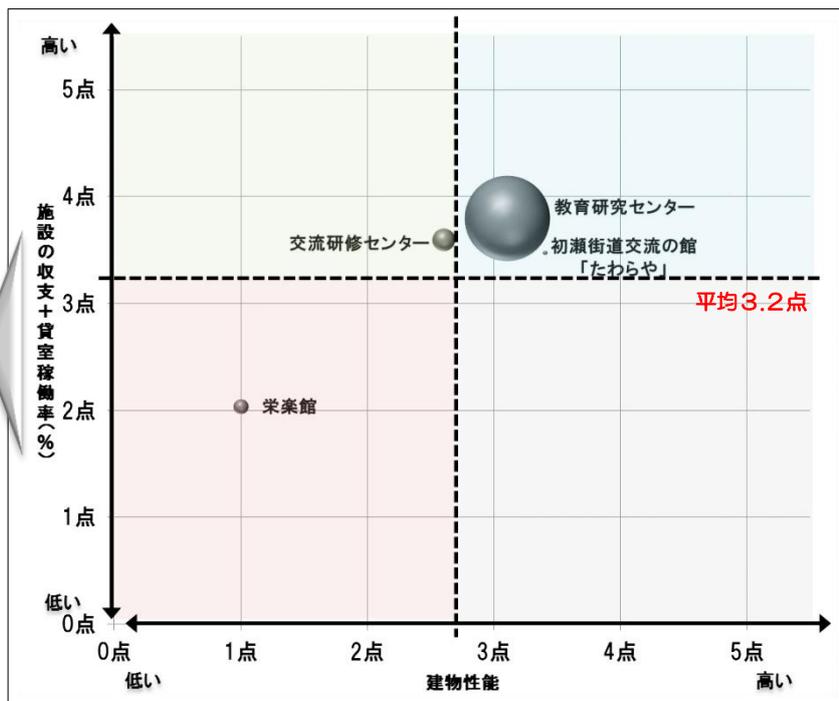
一人当たりの維持管理経費が最も小さい施設を5点、最も大きい施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<貸室稼働率>

利用コマ数÷利用可能コマ数×100%が最も高い施設を5点、最も低い施設を1点とし、その他の点数は数値に応じ比例配分

<縦軸の点数>

(施設の収支の点数×0.3) + (貸室稼働率の点数×0.7)



<適正配置の方向性> ※29

<協議、検討中の事項>

- ・ 栄楽館※30は、平成26（2014）年度に国の登録文化財として指定される予定となっていることから、文化財施設としての用途変更を検討していきます。
- ・ 交流研修センターは、平成26（2014）年4月1日より三田地区市民センターへの転用を予定しています。

<今後の方向性（案）>

- ・ 栄楽館は、文化財指定後、入交家住宅などの観光施設と一体で有効活用を図っていきます。
- ・ 現行の使用料または減免利用の見直しを図り、受益者負担の適正化を検討する必要があります。

※29 ハイトピア伊賀は、平成24（2012）年度に供用開始した施設であり、収支や利用者の情報がないことから、施設評価の対象から除いています。

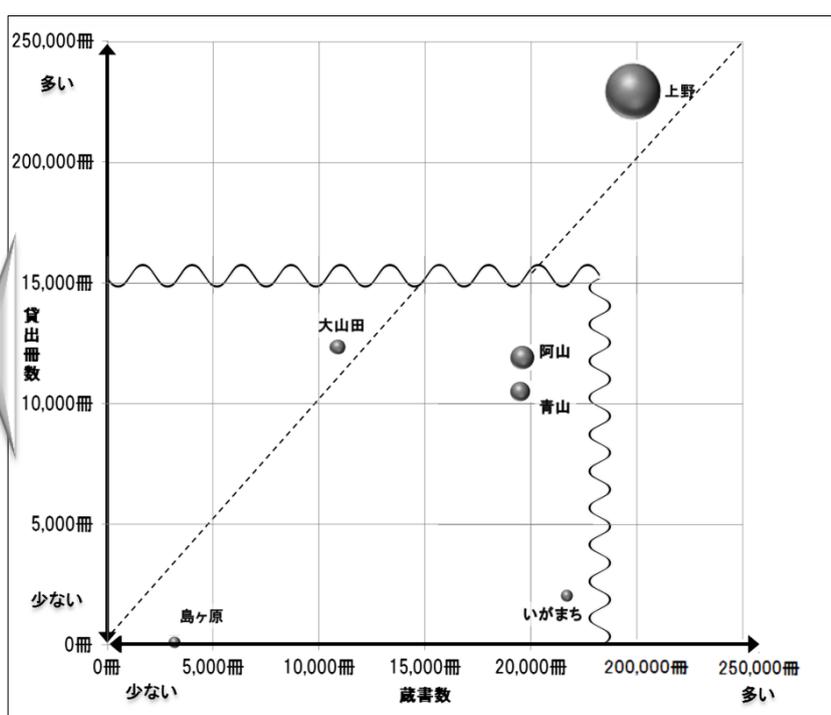
※30 栄楽館は、1800年代に建築されていますが、寄付を受入れた年度を建築年度として記載し、老朽化率を100%としています。

図書館

施設名称	地区	建築年度	評価棟数	延床面積 (占有面積)	建物性能		施設の収支		利用・稼働状況		
					老朽化率	耐震性	合計	1冊当たり	貸出冊数 (A)	蔵書数 (B)	稼働率 (A÷B)
上野図書館	上野	昭和59年度	1棟	1,679㎡	52.0%	有	-70.1百万円	-306円/冊	229,194冊	193,546冊	118.4%
いがまち公民館図書室 (いがまち公民館内)	伊賀	昭和46年度	1棟	35㎡	72.7%	無	-	-	2,053冊	21,682冊	9.5%
島ヶ原公民館図書室 (島ヶ原会館内)	島ヶ原	昭和46年度	1棟	30㎡	78.0%	無	-	-	150冊	3,165冊	4.7%
阿山公民館図書室 (あやま文化センター内)	阿山	平成16年度	1棟	300㎡	12.0%	有	-	-	11,844冊	19,712冊	60.1%
大山田公民館図書室 (大山田公民館内)	大山田	平成13年度	1棟	109㎡	24.3%	有	-	-	12,280冊	10,991冊	111.7%
青山公民館図書室 (青山公民館内)	青山	昭和49年度	1棟	181㎡	61.2%	無	-	-	10,318冊	19,711冊	52.3%
合計			6棟	2,334㎡	-	-	-	-	265,839冊	268,807冊	-

<貸出冊数>
 過去3年間の平均貸出冊数
 <蔵書数>
 平成25(2013)年
 4月時点の蔵書数

※ 図書館については、点数による評価を行っていません。



<適正配置の方向性>

<協議、検討中の事項>

- 上野図書館は、蔵書スペースの充実と利用者の拡大を図るため移転整備を検討しています。
- 各支所の公民館などに設置されている図書室は、平成26(2014)年4月より分館条例の制定に伴い、市の図書館として位置づけられる予定となっています。

<今後の方向性(案)>

- 上野図書館の整備計画に合わせて図書館分館機能のあり方を再検討していく必要があります。
- 施設の更新にあたっては、PFIなど民間資本による整備手法などが考えられます。